



一般社団法人てとてとココロ設立記念講演会

「助かる未来をデザインする」

～多職種が紡ぐ「助ける力」と「助かる力」の地域モデル～

日時

2025年

8月16日土

会場

熊本市医師会館

(熊本市中央区本荘 3-3-3)

開場 13時30分～

講演 14時～17時

参加費

無料

申込

右の二次元コード
(Google フォーム)より
お申込みください
申込期限: 8/14(木)まで



14時20分～



基調講演「被災者の命を救う多職連携による医療支援」

笠岡俊志氏 (かさおかしゅんじ) 熊本大学病院 災害医療教育研究センター教授・センター長。
救急・災害医療の専門家として、医療現場のみならず教育・研究分野でも国内外で幅広く活躍。
日本 DMAT 統括隊員や熊本県災害医療コーディネーターを務め、地域医療体制の強化にも尽力。

15時15分～



災害時の薬剤師の救護活動

熊本県薬剤師会常務理事、熊本県薬剤師会職能委員会委員長

橋本広太氏
(はしもとこうだい)

15時35分～



受援者の力を引き出す支援

熊本県阿蘇保健所所長、兼、健康福祉部健康危機管理課課長補佐

剣陽子氏
(つるぎようこ)

15時55分～



受援力のある避難所するために

熊本大学大学院先端科学研究所 / 工学部
土木建築学科・教授

16時25分～

パネルディスカッション

「助ける力」と「助かる力」の交差点～未来に向けた多職種の挑戦～

ごあいさつ

2013年任意団体「在宅支援研究会てとてとココロ」設立以来、医療・介護・障害福祉の枠をこえた多様な関係者との「顔の見える関係」を大切にしながら、地域に根ざした在宅支援の在り方を模索・実践して参りました。これまでの歩みをさらに発展・継続させるため、2025年5月法人化いたしました。これまでの活動に加え、災害時における「在宅支援体制の強化」と「受援力の向上」= 地域BCPの策定を新たな活動の柱とし、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりに取り組んで参ります。

ご多忙の折とは存じますが、ぜひご参加賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

一般社団法人てとてとココロ 代表理事：清藤 千景



助かる未来をデザインする

～多職種が紡ぐ「助ける力」と「助かる力」の地域モデル～

2025/08/16(土)14時～17時

@熊本市医師会館 一般社団法人てとてとココロ

